

# えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

http://www.town.erimo.lg.jp/section/

kyouiku/sg6h94000000pqh.html

## えりも高校の未来を考える会 D、Eグループの声

### Dグループ

- ・町外の人が入学しやすい環境（寮など）
- ・えりも町は教育・文化にとっても恵まれた環境なので、地元の高校を大切に家族共々、将来を見据えて、えりも高校の生徒数を増やして行くことを願う
- ・シャトルバスの継続と様似、庶野方面からの通学手段の確保
- ・特徴的な部活動の設置
- ・家庭への負担減、町外から通学者の負担減
- ・広尾高校や浦河高校を選択する理由を分析する
- ・模擬試験、資格検定料金の全額補助
- ・幼児期からえりも高校まで人間関係のかかわりが長い
- ・海外研修は魅力的
- ・小中高の合同イベントで、小中学生がえりも高校生に憧れをもってもらうイベントを行う。それを日本中に配信
- ・人口減少と財政負担からは避けられない現実を受け入れ、方策を検討
- ・海外研修についてのアピールを強くする
- ・新たな部活動やサークルをつくる

- ・町外の人にも知ってもらう
- ・SNSの活用
- ・保護者にもえりも高校のいいところを伝える
- ・もっと、えりも高校の魅力をPR

### Eグループ

- ・漁業が体験できるような取組
- ・小学校とも連携して、えりもに高校があることを認識してもらう
- ・子育て世代の支援。新産業の誘致。サウナ付き温泉施設
- ・授業や部活動などの中学校との円滑なつながり
- ・在校生の親としては、町としてどのように対応していきたいのかが分からない
- ・オンライン授業
- ・インターンシップみたいな活動をもっと増やす
- ・PR外にうまく伝える。部活動のつながりをもっと。インターンシップのかかわりが容易
- ・オンライン授業。漁業体験を小学校から多く町としてどんな対策か。新しい産業・施設等の魅力を増やす

## 2学期に一生懸命努力した

## 立腰・家庭学習チャンピオン

- 4年前から、学校での学びの姿勢を定着させることや、大きな課題となっている家庭学習の習慣化を目的に、学校からの推薦を受けて教育長が学校に出向き表彰しています。
- 2学期も各学校から推薦された立腰2名、家庭学習2名の児童を表彰しました。(敬称略)



笛舞小 立腰～3年小山由紀菜、6年山田海彩  
家庭学習～3年田村心晴、5年熊野星那



えりも岬小 立腰～4年橋本博生、6年駿河海咲  
家庭学習～1年白石美玲、2年駿河奏海



庶野小 立腰～4年児玉季緒璃、1年金澤沙弥  
家庭学習～5年倉田武芭、4年赤石唯織

えりも小では、立腰・家庭学習の表彰と合わせて、管内絆づくりメッセージコンクールの奨励賞の表彰も行いました



えりも小 立腰～3年淡路紗陽、6年西野綺人  
家庭学習～2年川崎朱華、5年木戸春香  
管内絆づくりメッセージ～6年工藤誠司

## がんばろうとする心と行動！ 冬休み学習サポート

### 各学校で行われた日程

- 笛舞小学校 12/26・27
- えりも小学校 12/26・27
- えりも岬小学校 12/26・27
- 庶野小学校 12/26・27
- えりも中学校 12/26・27
- えりも高校 勉強合宿 1/10・11・12

○今年で9年目を迎えた冬休み学習サポートでしたが、特に、冬休みの学習会は、寒い中で登校しなければならず、一人一人の強い意志が必要です。今年も、各学校で2日間2時間実施し、児童生徒がしっかりと取り組みました。



えりも小では、各学年に分かれて、国語や算数の問題や2学期の復習にも取り組みました。



笛舞小では、昨年まで3学期始まり前に実施していましたが、今年は2学期の終了後に開く中で、児童は一生懸命に取り組んでいました。



えりも岬小では、各学年に分かれて2学期に学んだことについて復習していました。



庶野小では、全学年が一つの教室に集まり、2学期に学習した問題を、「学びの振り返り」として取り組んでいました。



えりも中学校では、庶野方面と近浦方面など、遠くからも参加できるようスクールバスを運行するなど、学びの環境を工夫しました。